

「小規模特認校の養護教諭として思うこと」

日向市立坪谷小学校 養護教諭 縫 温子

坪谷小学校は、全校児童16名の「小規模校特別認可校」です。恵まれた自然や学校・地域の特色を生かして市内のどこからでも通学できる制度がとられています。

また、坪谷小学校は、歌人「若山牧水」の母校で、学校内外で若山牧水の様々な顕彰活動に取り組んでいます。例えば、朝の短歌朗詠はその1つです。子どもたちは、毎朝登校し、玄関の前で若山牧水の短歌を朗詠します。子どもたちの短歌朗詠の声は学校全体に響き、1日の始まりを知らせてくれます。その時間は、養護教諭にとって、子どもたちのその日の様子を把握する大切な時間でもあると感じています。

さらに、坪谷小学校のもう1つの特徴として、豊かな体験活動ができることが挙げられます。1年間を通して五色米ともち米作りを行っています。地域の方々のご協力を得ながら、全校で苗づくりから田植え、稲刈り、脱穀まで行っています。この体験は、子どもたちの命を大切にする心や互いを尊重し協力する心を育てています。

坪谷小学校の養護教諭として勤務し、学校の子どもたち全員と関わる機会が多いことは本校の大きな魅力であると感じました。先述した若山牧水顕彰活動や体験活動だけでなく、遠足やボランティア活動など学校の活動のほとんどに養護教諭も一緒に参加します。そして、給食も全校で一緒に食べます。このように、本校では、普段保健室に来室しない子どもとの関わりも多くもつことができます。このような日々の関わりにより、子どもたちを保健室以外の様々な場面から多面的に捉えることができます。これは、子どもたちの心身の健康状態の小さな変化に気づき、担任の先生方と連携して早期に問題や保健課題に対応するうえで大変恵まれた環境であると思います。

今後も、子どもたちと多くの時間を共に過ごし、一人一人と向き合い、子どもたちが健やかに学校生活を送ることができるよう努めていきたいと思っています。